

間伐実践・環境教育部門 間伐推進中央協議会会長賞
Forest Good 2016 ～間伐・間伐材利用コンクール～

額田木の駅プロジェクト実行委員会

(会社名・団体名等)

| | |
|-----|---|
| 連絡先 | (住所) 〒444-3432 愛知県岡崎市千万町字寺沢52 (担当部署等) 事務局 (電話番号等) TEL: 0564-77-4090 FAX: 0564-77-4090 |
|-----|---|

| | | |
|------------------------------|--|--|
| 取組の名称 | 森と地域を元気に！額田木の駅プロジェクト | |
| 取組名称の説明 | 間伐材を地域通貨で買い取る「木の駅」で、森林整備の推進と地域経済の活性化を図る。 | |
| 取組のきっかけ | 愛知県岡崎市額田地域は森林率80%を超える林業地で、かつてはヒノキの優良材を生産し栄えてきたものの、林業の低迷と共に人口流出と高齢化が進行し、荒れた人工林も目立つようになってきた。治水と土砂災害防止のためにはより多くの山主に再び山に目を向けてもらう必要がある。そこで全国で取り組まれている「木の駅」を額田地域でも実施する運びとなった。 | |
| 取組内容・特徴 | 額田木の駅プロジェクトでは岡崎市内で間伐された木材を1tあたり6,000円で買い取りを行い森林整備を推進する。精算に際しては現金ではなく額田地域のお店でのみ利用できる地域通貨「森の健康券」で支払いを行うことで、地域経済の活性化に貢献することも目指している。 | |
| 実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む) | 実行委員会形式で運営しており、額田林業クラブ、岡崎市、森林組合、商工会、森林ボランティアグループなどが多様な主体が委員として参画し、合議制でプロジェクトを推進している。木材は主に岡崎市内のチップ業者に1t3,000円で販売しており、不足分は岡崎市より負担金を拠出いただいて運営している。岡崎市の実施している林業講座「岡崎きこり塾」とも連携しながら、技術の向上した山主の実践の場として木の駅が機能している。 | |
| 実績 | 除間伐実績 | 木材出荷量 平成27年度 841t 平成28年度 823t (平成28年9月現在。年度内1000t目標) |
| | 環境教育 | 地元の形埜小学校5年生に対し、子ども木の駅体験を実施(平成28年1月。今年度も平成28年9月下旬に実施予定) |
| 取組による効果等 | 現在約100名の方が出荷者として登録をしている。プロジェクトが広まるにつれ、それまでは山に入ったことなかった山主や市外の森林ボランティア団体も間伐作業に参加するようになってきている。また地域通貨の登録店として約50店舗が参加しており、それまでは市街地の大型店舗に流れていたお金が地域で循環する動きが出てきたことに喜びの声をいただいている。 | |
| 製品等の写真・図表 |  <p>開駅式の様子(平成27年5月) 30台以上の軽トラックが連なり、この日だけで20t以上の木材が出荷された。</p> |  <p>子ども木の駅体験(平成28年1月) 森林の調査、間伐、搬出、出荷まで実際の木の駅の流れを子どもたちが体験。最後は実際に地域通貨で買い物を行った。</p> |